



10/6 地域の方と金屑川について意見交換しました。



10/30 議会運営委員会で鹿児島県議会・宮崎県議会を視察し、議会のICT化について調査しました。



11/1 「障がい者と太鼓 兆(きざし)」の練習を見学し、ご要望を受けました。



11/3 「九州レインボープライド2024」に参加しました。

11/6 建築都市委員会を石川県・富山県を訪問。石川県立図書館などを視察しました。



11/22 筑紫学園大学で「女性のライフキャリアと政治」について講演しました。



11/22 福岡県助産師会「母子保健活動に関する情報交換会」に参加し、現状と課題をお聞きしました。



12/4 「福岡 大分県人会」に参加し、意見交換しました。



12/16 「福岡キャリアカフェ」大交流会に参加し、ロールモデルの女性の方々と意見交換しました。

ごとうかおりを囲む会

2025年1月24日(金) 19:00~20:00
場所:早良市民センター・視聴覚室

- 第一部 県政報告会
- 第二部 学習会・意見交換会「不登校・多様な学び」

不登校や多様な学びについて、一緒に考えませんか。私も当事者家族です。お子さま連れOKです。ご興味のある方は、ぜひお越しください!

ごとうかおり プロフィール



- 1979年 大分県日田市生まれ
- 1998年 大分県立日田高校 卒業
- 2002年 愛知教育大学 教育学部(総合理学コース) 卒業
大学卒業後、短大、専門学校にて勤務
- 2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
- 2019年 福岡県議会議員 初当選
- 2023年 福岡県議会議員 2期目当選
- 南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族
〔趣味〕カラオケ、マンガ、ヨガ、史跡めぐり
・「女性のための政治スクール」「パリアアカデミー」修了

子育て世代・女性の声を届けるため日々奮闘中!

- 福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属
政策審議会事務局次長
- 女性活躍・ジェンダー委員長
- 建築都市委員会 副委員長
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会 委員
- オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 副会長
- 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 幹事
- アピスパ福岡を応援する会 理事
- 福岡県住宅供給公社評議員会評議員
- 福岡県交通対策協議会委員
- ・福岡県日中友好協会 理事長
- ・西区野球連盟 顧問 ・早良区少年愛護パトロール委員
- 他にも、子ども会、福岡西部子ども劇場など、地域の皆さまと共に活動中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 会派控室 〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203

立憲民主党

福岡県議会議員 (福岡市早良区)

後藤香織 県議会報告

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F
TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



新しい年に想いを新たに!

新しい年2025年(令和7年)を迎えました。

皆様におかれましては、新年をいかがお過ごしでしょうか。

2024年は、「政治とカネ」の問題で政治不信の中、衆議院議員解散総選挙が行われました。今年度は、福岡県知事選挙や参議院議員選挙も予定されています。

私も春には県議会議員として7年目を迎えます。地元早良区での活動や県民の皆さまの生活の声にもとづいた政治を実現するため、これからも、皆さまに一番近い議員として頑張っている所存です。また、腐敗した利権・世襲政治を打破し、議会改革を進め、真摯に、まっすぐに取り組んでまいります。

この年も「福岡県議会議員 後藤香織」をよろしくお願いいたします。

福岡県議会議員 後藤香織

犬・猫の致死処分ゼロを達成!

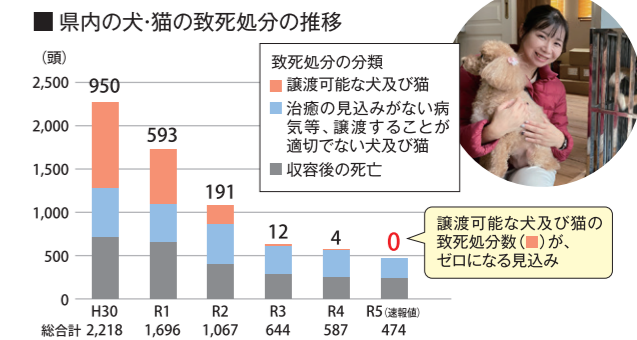
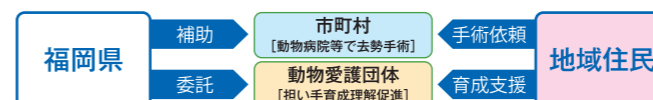
福岡県では、人と動物が共生できる社会の実現を目的として「犬・猫の致死処分ゼロ」をめざし、様々な取組を進めています。その結果、2023年度に県内の動物愛護センター等で収容された犬・猫のうち、譲渡可能な犬・猫の致死処分が、初めてゼロになりました。

今後も譲渡可能な犬・猫の致死処分ゼロを維持していくとともに、県が実施する多頭飼育などに対する適正飼養の普及啓発や地域猫活動の推進をすすめる、譲渡できない犬・猫を含めた致死処分の削減に取り組んでまいります。

地域猫活動を支援しています!

福岡県は市町村が行う地域猫の不妊去勢手術費用を補助しています。

- ①未導入市町村にて、動物愛護団体を活用した担い手育成を支援
- ②不妊去勢手術費用の助成 補助率1/2、上限メス13千円、オス8千円



福岡県動物愛護センター
譲渡会などで、犬や猫の飼い主になりたい方へ譲渡をおこなっています。ドッグランも利用できます。また、センターで動物愛護啓発活動に協力していただけるボランティアも募集しています。詳しくは、ホームページをご確認ください!

福岡県議会 12月定例会報告

2024年12月定例会は、12月2日から19日までの18日間の会期で開催されました。開会日に知事から、令和6年度福岡県一般会計補正予算など予算議案2件、他、計37議案が提案されました。代表質問、一般質問での審議、及び各常任委員会の審査を経て、定例会最終日の12月19日に、国の経済対策補正予算を踏まえて追加提案された一般会計補正予算議案を含め採決が行われ、いずれの議案も可決されました。

会期中の会派勉強会では、NPO法人「抱撲」の奥田知志理事長より、居住支援・困窮者生活支援のこれまでの取組と課題をお聞きしました。



2024.12.6 会派を代表して、代表質問しました！

会派21名を代表して、11テーマにわたる45分間の質問をさせていただきました。

傍聴にも、地元早良区のみなさんをはじめ、普段から応援してくださる皆さんが駆けつけてくれました。

インターネット中継で見たよ！とお声かけも頂きました。ありがとうございました。

選択的夫婦別姓への知事の認識について

後藤 ジェンダー平等を掲げてきた知事は、選択的夫婦別姓制度について、どうお考えか。

知事 選択的夫婦別姓制度の導入については、こうした国民各層の意見を丁寧にくみ取り、また国会における議論や司法の判断を踏まえ、国において、幅広い国民の理解を得られるよう検討を進めていただきたいと思います。

投票率の向上について

後藤 県内市町村に対して、移動期日前投票所を含めた期日前投票所の増設が必要と考えるが、どのように働きかけを行うのか。

選挙管理委員会 県選挙管理委員会では、これまで、市町村選挙管理委員会に対し、有権者にとって利便性の高い大型商業施設等への設置を働きかけてまいった。先般の9月議会で、県知事選挙における商業施設等への設置箇所数を増加する経費を議決していただいたことを受け、10月に、改めて検討を促す文書を出したところである。来年3月の県知事選挙の執行に向け、大型商業施設等への期日前投票所の設置が進むよう、引き続き、市町村選管への働きかけを行ってまいります。

いじめ問題の私立学校における対応について

後藤 県立学校においては、設置者である県がいじめの発生の段階から状況を把握できるのに対し、私立学校の場合、設置者である学校法人等がいじめ発生を確認し、調査を行い、県が把握できるのは、それが重大事態となった場合以降となっている。いじめ重大事態に至る前の早期の段階で、県としても適切な対応が速やかにできるようにすべきだと考えるが、知事の考えは。

知事

県としては、出来るだけ早い段階でいじめを発見するため、児童生徒や保護者からの相談や情報提供に対応する「いじめレスキューセンター」を昨年11月に設置した。私立高校についても、このセンターから「いじめ対応・教育支援班」に情報提供があった場合、速やかに校長にその内容を伝えるとともに、事実確認を行い、県に報告するよう指導している。さらに、県では、各学校法人の理事長を対象とした私学協会の経営者研修会において、私立学校と学校法人が連携して組織的に、いじめの未然防止や早期発見を徹底するよう要請しており、引き続き、こうした取組を行ってまいります。

地域医療提供体制の確保について

後藤

医師の働き方改革の県内の影響について、その後の調査結果は。

知事

今年7月から10月にかけて、県内の病院など501医療機関に対して、医師の働き方改革の施行後の影響について調査を行ったところ、大学病院等からの派遣医師が減少したと34医療機関から回答があった。影響が懸念されていた診療科のうち、救急科については、8医療機関が診療科の制限などを行い、産科については、1医療機関が分娩取扱数の削減を行ったとの回答があった。今回の調査の結果、現段階では、地域の医療提供体制に大きな影響は見られなかったものの、引き続き注視してまいりたいと考えている。

翌日12/7の
・西日本新聞朝刊17面
・読売新聞朝刊に、質問内容が掲載されました。

ひきこもりの高齢化について

後藤

ひきこもりの方の親が亡くなった後、その生活を支援していくためにはどのような点に力を入れるべきとお考えか。

知事

親亡き後は、食事や住まい、金銭管理に関する事など、生活全般について頼る人がいなくなるため、

親が亡くなる前から、県や市町村などの支援機関との関係を築いておくことが必要である。このため、県としては、高齢のひきこもりの方を抱えている家族に、早い段階から、将来のリスクを理解していただき、ひきこもり地域支援センターや市町村に相談していただけるよう、引き続き、広く相談窓口の周知を図ってまいります。また、高齢のひきこもりの方が必要とする生活全般にわたるニーズに対応できるよう、市町村や支援機関が参画する「ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議」において、様々な支援事例を蓄積することで連携体制を強化してまいります。

地域公共交通の維持に向けた取り組みについて

後藤

県において、バス・タクシーのドライバー確保に向けた取組を進めるべきと考えるが、知事の考えは。

知事

今年度から、女性や外国人など多様な人材を運転手として受け入れるために必要なトイレや更衣室の改修、配車アプリの導入など職場環境の整備に対する助成を行っている。

天神地下街において、バス・タクシー運転手の魅力を伝えるPRイベントを実施するとともに、県内のバス事業者に御協力をいただき、バス運転体験会・合同会社説明会を開催した。このほか、外国人が運転手として働けるよう、全国に先駆け、今年3月から、第二種自動車運転免許の学科試験を英語、中国語、ベトナム語、ネパール語の4か国語で受験できるようにして、さらに6月には、対応言語を20か国語に拡大した。こうした取組により、運転手の確保に努めてまいります。



教員志願者増加に向けた対応について

後藤

本県の2025年度教員採用試験の小中学校の採用予定者数と合格者数、辞退者数は？2次募集の実施など、今後の採用計画についての考えは。

教育長

今年度夏の教員採用試験において、小学校では、採用予定者数は600人、最終合格者数は550人、中学校では、採用予定者数は340人、最終合格者数は377人である。また、11月末時点の辞退者は、小学校は75人、中学校は38人である。

県教育委員会としては、このほか、11月に関東会場において、現職教員を対象とした特別選考を実施することで、複数の受験機会を設けている。年度末人事異動の内示日を前倒しして講師確保に早期に着手できるようにするほか、講師採用の内定を年内に行う大学推薦制度を促進するとともに、退職者にも再任用の働きかけを行い、新年度に向けて講師の確保に努めてまいります。

痴漢対策の強化について

後藤

被害の潜在化に対し、被害者が相談しやすい体制づくりが必要と考えるが、県警察の取組は。

警察本部長

県警察では、24時間体制で対応する、性犯罪被害相談電話「#8013」、通称「ハートさん」のほか、警察相談専用電話「#9110」やメール相談など、広く相談を受ける体制をとっている。

これらの相談窓口については、県警ホームページや防犯アプリ「みまもっち」、各種キャンペーンなど、あらゆる機会を通じて周知に努めている。また、相談担当職員の研修を定期的に行うほか、相談を受ける際は、適切な場所を選定し、希望する性別の警察官が対応するなど、被害の相談をしやすい環境の整備に取り組んでいる。

室見川の河川整備について

後藤

これまで室見川の減災を目的として、福岡市とどのように連携・協議を行ってきたのか、今後、連携・協議を強化すべきではないか。

知事

現在、県では、室見川を含む福岡都市圏の二級河川において、水災害による被害を軽減させる取組を検討するため、国や福岡市などの圏域内市町と連携し、「流域治水協議会」や「大規模氾濫減災協議会」を設置し、「流域治水プロジェクト」を策定するとともに、このプロジェクトに基づく対策の実施状況のフォローアップを行っている。

室見川では、「流域治水プロジェクト」に基づき、河川管理者が、河道掘削や河川監視カメラ、水位計の設置を行い、また、国や福岡市が、間伐などの森林整備や、雨水貯留浸透施設への助成を行うなど、関係者が連携して、ハード・ソフト一体となった流域治水に取り組んでいる。引き続き、これらの協議会を通じ、国や福岡市などの圏域内市町と連携し、流域治水の取組を推進することで、室見川における水災害の更なる軽減に努めてまいります。



質問内容の詳細については、[後藤香織オフィシャルホームページ](#)、または[福岡県議会ホームページ](#)にて動画、検索ができますので、ぜひご覧ください。

